

授業内外における レポート作成支援教材の 利用事例

UeLAフォーラム及びJADE & UeLA 合同フォーラム2023

公立千歳科学技術大学

2024年2月28日

大手前大学 現代社会学部 石毛 弓

大手前大学 国際日本学部 野波 侑里

大手前大学 学修サポートセンタースーパーバイザー 浅谷 豊

大手前大学 学修サポートセンターチューター 中島 梓

目次



1. 『レポートの書き方』の概要
2. 科目での使用例
3. ルーブリックとしての使用例

基本情報



大手前大学

- 4年制で共学の私立大学
- 6学部
- 学生数 通学約3,200名
通信約3,400名
- 兵庫県西宮市・大阪府大阪市に
2キャンパス
- 西宮市・大阪市の両キャンパス
に学修サポートセンターを設置
- さくら夙川キャンパスには短期大
学が併設





『レポートの書き方』の概要



『レポートの書き方』作成の概要

・ 制作者

- ・ 執筆: 学修サポートセンタースタッフ1名(非常勤講師)
- ・ 監修: 学修サポートセンタースタッフ1名(専任教員)
- ※その後、改訂の際に複数名の教職員が関わる

・ 予算

- ・ H24年度特別教育研究費(オンデマンド教材作成)
- ・ H25年度特別教育研究費(書籍版のデータ作成)
- ※どちらも大学独自の競争的資金に上述の監修者が応募

・ 目的

- ・ 800～4000文字程度のレポートを書く基礎を身につけることができる(主として初年次生を対象とする)
- ・ 参考・引用文献を用いてレポートを書くことができる



動画版の主な特徴

- ショートムービーが若年層に好まれる傾向がある
- 1本3分前後を基本とする
- 動画、音声、文字で構成されている（文字は動画の横に表示させることができる）
- 各章ごとに「確認テスト」と「答えと解答」を設置している

レポートの書き方 (動画版)

5-1 読み手の視点に立つ
(1 / 8 ページ)

1.00

レポートの書き方
第 5 章 レポートの型

1. 読み手の視点に立つ

1.00

<スライド1>
第5章 「レポートの型」
1. 読み手の視点に立つ
<スライド2>
レポートではたいてい字数が指定されます。
課題にもよりますが、1200~2000字とされる場合が比較的多いようです。
1200字から2000字と聞くと、長いと思うかもしれませんが、
でも、ものごとをきちんと考察してそれを的確に伝えるには、どうしてもこれくらいの長さが必要になります。

目次

- 第 1 章 レポートとは
- 第 2 章 準備する
- 第 3 章 資料を探す
- 第 4 章 レポートにふさわしい文章表現
- 第 5 章 レポートの型
 - 5-1 読み手の視点に立つ
 - 5-2 レポートの型-序論・本論・結論
 - 5-3 序論
 - 5-4 本論 (1)
 - 5-4 本論 (2)
 - 5-5 結論
 - 5-6 「序論・本論・結論」についての注意点 (1)
 - 5-6 「序論・本論・結論」についての注意点 (2)
- 第 6 章 段落と接続語
- 第 7 章 体裁を整える
- 第 8 章 推敲・校正

配布資料

確認テストは、この章の内容を理解できたかどうかをチェックするためのものです。
「確認テスト」をダウンロードして解き、「答えと解説」を見て答えを確認しましょう。

確認テスト

答えと解説



科目での使用例



キャリアデザインⅢ(2018年度)

- 全15回、2単位、必修、少人数演習
- 2年次春学期
- 1クラス25人程度
- 学習テーマ
 - キャリア教育
 - クリティカル・リーディングとライティング
- 目標:4000字レポートが書けるようになること など
- 教材:「レポートの書き方」(2013年度～)

キャリアデザインⅢ(2018年度)シラバスの一部

05	知識/ 能力	・ C-PLATSとは② ・ クリティカル・リーディング①	・ C-PLATSの内容を理解し、キャリアデザインシステムへの入力内容を確認する ・ クリティカル・リーディングとは	・ 授業内容に関連した課題
06	知識/ 能力	クリティカル・リーディング②	・ クリティカル・リーディング演習①	・ 授業内容に関連した課題
07	知識/ 能力	クリティカル・リーディング③	・ クリティカル・リーディング演習②	・ 授業内容に関連した課題
08	知識/ 能力	クリティカル・リーディング④	・ クリティカル・リーディング演習③	・ 授業内容に関連した課題
09	知識/ 能力	クリティカル・リーディング⑤	・ クリティカル・リーディング演習④	・ 授業内容に関連した課題
10	知識/ 能力	ライティング・スキル①	・ ライティングスキル演習①	・ 授業内容に関連した課題
11	知識/ 能力	ライティング・スキル②	・ ライティングスキル演習②	・ 授業内容に関連した課題
12	知識/ 能力	ライティング・スキル③	・ ライティングスキル演習③	・ 授業内容に関連した課題
13	知識/ 能力	ライティング・スキル④	・ ライティングスキル演習④	・ 授業内容に関連した課題
14	知識/ 能力	ライティング・スキル⑤	・ ライティングスキル演習⑤	・ 授業内容に関連した課題 ・ 「キャリアデザインⅠ」のふりかえり課題

キャリアデザインⅢ 授業コード：40521

科目トップ

教材

お知らせ

進捗管理

採点管理

お知らせ管理

教材管理

出欠管理

教材

第2回

第3回(締切:2018/05/6 12:00 ※月曜日です、注意してください)

第4回

第5回



第5回課題



[EL課題5](#)

第6回

キャリアデザインⅢ(2018年度)LMS利用例

第5回課題

キャリアデザインⅢ 参考文献の書き方課題

学習支援センター サイン

1. レポートを作成するために読むべき資料を書きなさい（5点以上）
 - Wikipedia や個人のブログは不可（資料として価値があるため利用したい場合は、事前に担当教員に相談してください）
 - 『レポートの書き方』「7.体裁を整える」「5.引用・注」《2》注の形式の【形式2】のスタイルをとること
2. この用紙を「学習支援センター」に持参し、資料の書き方が正しいかどうかをチェックしてもらう。すべて正解したらサインをもらい、次回授業時に担当教員に提出する。

参考文献として指示

学習支援センターの方へ

参考資料の書き方が正しいかどうかをチェックしてください。間違いがある場合はその部分の指摘にとどめ、直すのは学生本人にさせてください。
よろしくお願いいたします。

学修サポートセンター（旧学習支援センター）との連携例（授業内でグループワークとしてたがいの書き方をチェックする方法も可能）



これから「レポートの書き方」を読んだ上での予習テストを実施します。
受験回数の制限はありませんが、必ず目標期限内に終了するようにしてください。
来週の授業冒頭に確認テストを実施しますので、しっかりと「レポートの書き方」を読んだ上ですべての問題に正解できるよう準備しておいてください。

では、がんばってテストに取り組んでください。

提出回数

制限はありません

途中中断

中断はできません

制限時間

制限時間はありません

開始

閉じる

課題として提示。
理解することを目的としているため、
テキストを参照してもよい

> 第1問 / 全5問

下記のカギカッコ内の文章について、レポートにふさわしい表現なら「ふさわしい」を、ふさわしくない表現が含まれていれば「ふさわしくない」を選びなさい。

「なので、彼らは大阪都構想に反対しているのである。」

- ふさわしい。
- ふさわしくない。

設問の例

解答の例
(模範解答、解説等は
授業中に実施)



第5回

L EL課題5



一覧



前へ



次へ



終了



提出

> 第1問 / 全5問

下記のカギカッコ内の文章について、レポートにふさわしい表現なら「ふさわしい」を、ふさわしくない表現が含まれていれば「ふさわしくない」を選びなさい。

「なので、彼らは大阪都構想に反対しているのである。」

ふさわしくない。

あなたの解答 ▶

ふさわしい。

「レポートの書き方」 第4章 確認テスト

学籍番号 _____ 名前 _____

第4章の確認テストです。『レポートの書き方』第4章の内容がきちんと身につけているかどうかを確認しましょう。

問1 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』を踏まえて、次の説明のうち最も適切な説明を選びなさい。

- 1 レポートを書くときには、文末は「敬体」で統一することが求められる。また、書き終わったら、「常体」が混ざっていないかを確認しなければならない。
- 2 レポートを書くときには、文末は「常体」で統一することが求められる。また、書き終わったら、「敬体」が混ざっていないかを確認しなければならない。
- 3 レポートでは、丁寧で柔らかい印象を与える「です・たら」、「です・ます」体で統一できているかどうかを確認
- 4 レポートでは、礼儀を欠いた言葉使いという印象をき終わってから、「だ・である」体が混ざっていないかを

答え 2

解説

『レポートの書き方』第4章第1節に説明がある。レポートはすべて常体(=だ・である体)で書かなければならない。また、書き終わってから、敬体(=です・ます体)が混ざっていないか必ず確認しよう。

現在の『レポートの書き方(動画版)』における確認テスト例
(学修内容をより確認できる内容になっている)

(模範)解答と解説



授業の補助教材として

キャリアデザイン I (2023年度)

- 全15回、2単位、必修、少人数演習
- 入学直後の初年次春学期
- 1クラス25人程度
- 学習テーマ
 - キャリア教育
 - リーディングとライティング(全7回)
- 目標: 800字レポートが書けるようになること など
- 教材: 「レポートの書き方」(2013年度～)

「レポートの書き方」に基づくレポートチェック



- ① 第4章 文末に「です・ます」を用いないこと
- ② 第4章 話し言葉を用いないこと
- ③ 第4章 「思う」や「感じる」という感想文を記述しないこと
- ④ 第4章 「私は」という表現を用いないこと
- ⑤ 第4章 1文は短くまとめ、80字以内とすること
- ⑥ 第6章 段落のルール10箇条を守っていること
- ⑦ 第7章 3本の参考文献を挙げ、形式を整えておくこと
- ⑧ 第7章 必要事項を欠かさずフォーマットが整っていること
- ⑨ 第7章 適切なタイトルを付けていること

「レポートの書き方」教材の効果



- 統一的な目標設定
- 動画視聴により指導内容のバラツキを抑える
- レポートチェックの観点の明確化
- クラス外の他者チェックが可能
- 学修サポートセンターによる学修支援が可能
- 全学生のライティングの質保証

授業外のスタッフと基準をそろえて指導することが可能になる

※詳しくは参考資料参照



- ・レポート課題：作成上の注意点として
剽窃の防止
- ・Web版、動画版の閲覧実績
 - ・単位修得試験の時期：Web版がより多く閲覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
レポートの書き方(Web版)	510	514	615	376	539	306	341	563	261	451	509
レポートの書き方(動画版)	581	404	378	141	151	130	130	127	79	112	86

2023年度 『レポートの書き方』 閲覧実績

通信教育部のレポートサポート 授業例



科目名	レポート課題	受講者数
アカデミックライティング	800字レポート基礎	812
アカデミックライティングII	4000～6000字レポート	211
日本語教育	複数回のレポート課題	826
日本語教授法A	複数回のレポート課題	622
日本語教育読解演習	複数回のレポート課題	334

- 学生の年齢層が幅広い(10～80歳台の学生)
- 学生と直接対面でレポート指導ができない
- 受講生が多いため、チューターがレポート課題の指導

通信教育部の授業 チューターの指示



受講生のみな様

学修、着々とがんばっていますね！

みなさんの、課題やレポートのチェックを担当している、チューターの〇〇です。

さて、本授業の第〇回には、レポート課題があります。

1ヶ月ほどチェックをして気になったのは、「教案」を書いてきている人がやや多い…という点です。

レポート(つまり論述)ですので、その点ご注意のほど、よろしくお願いします。

また、教えることを順番に羅列するだけでなく、

「なぜか」、「どのような点に留意する必要があるのか」なども盛り込むよう心がけましょう。

(←理由・根拠がレポートの説得力を高めます。これはこの授業に限らず、すべてのレポートに共通です。)

なお、レポートの書き方については、

el-Campusの「レポートの書き方」などを、ぜひ参考になさってください。

また、みなさんの今後の学修の参考や学修意欲につながれば…と、フィードバックを行っています。

…



第5回レポート課題、拝読しました。ただ、レポートとして適切な表現になっていませんでした。「だ・である」体で論じることが求められます。また、段落の意識も必要です。段落の意識がなければ、とりとめなく生まれた意見・考えを列挙しているように読めてしまうからです。ですので、一度、el-Campusの「レポートの書き方」をしっかりと確認し、序論・本論・結論の三部構造や、段落についての説明を確認したうえで提出いただけますか？ よろしくお願ひします。 (1回目)

再提出をありがとうございます。ただ、まだ学術レポートとしての形式的なミスがあります。文書に簡単ですがコメントを書きました。そちらと、el-Campusの「レポートの書き方」を参考に、ご自身でレポート全体を見直し、形式を整えてください。他の授業レポートとも共通のルールとなりますので、頑張ってください。 (2回目)

再提出をありがとうございます。ただ、前回もコメントしたのですが、各段落の冒頭は一字下げをしてください。そして段落と段落の間に、空行は設けないでください。再提出をお願いします。 (3回目)

きちんと形式を整えられましたね。これがレポートの形式です。今後の参考にしてください。引き続き頑張ってください。 (4回目)



単位修得試験のレポート課題

④直接引用、間接引用、要約、文献の表記方法などの詳細は、el-Campus「レポートの書き方」の「7. 体裁を整える」、「引用、注」などを参考にすること。

- 作成上の注意
 - ・ファイル名(あるいは事象名)の医療人類学的分析]
 - ・1行目に学級番号(1行目にタイトル(ファイル名と同じ)を入れる。
 - ・本文の文字数(1200文字以内(タイトル、学籍番号、氏名、参考文献リストは文字数に含まれない))
 - ・参考文献使用上の注意
- ①参考文献を使用する場合は、直接引用、間接引用、要約に関わらず、参考にした箇所をそれぞれ明確に示し、出典元をどのように明記すること。
 - ②書籍、学術雑誌、新聞を使用する場合は、出典元として、書名または論文のタイトルなど、著者名、出版年、出版社、引用元は参考にしたページを明記する。
 - ③Web ページからの引用は、信頼性の高い Web ページからとし (Wikipedia や個人のブログは不可)、執筆者名、記事名、Web サイトの名称、URL、アクセス年月日を明記し、採点者が直接アクセスできるようにすること。
 - ④直接引用、間接引用、要約、文献の表記方法などの詳細は、el-Campus「レポートの書き方」の「7. 体裁を整える」、「引用、注」などを参考にすること。
 - ⑤文献の表示なく剽窃(コピペ)した場合は単位を与えない(剽窃チェックを行います)。
 - ⑥引用がレポートの 40%以上であった場合は、単位を与えない。



活用例まとめ

- メイン教材の場合は、課題として視聴個所を指示する
- 視聴内容の理解度を確認する課題をあわせて提示する
- 授業内で課題の解説を行う

- 補助教材の場合は、レポート執筆要領内で特定の動画を指示する
- 要領を詳しく・長く書く必要がなくなる
- 科目担当教員以外の人間と連携をとる場合、レポート作成の基準や遵守すべき内容を共有しやすい

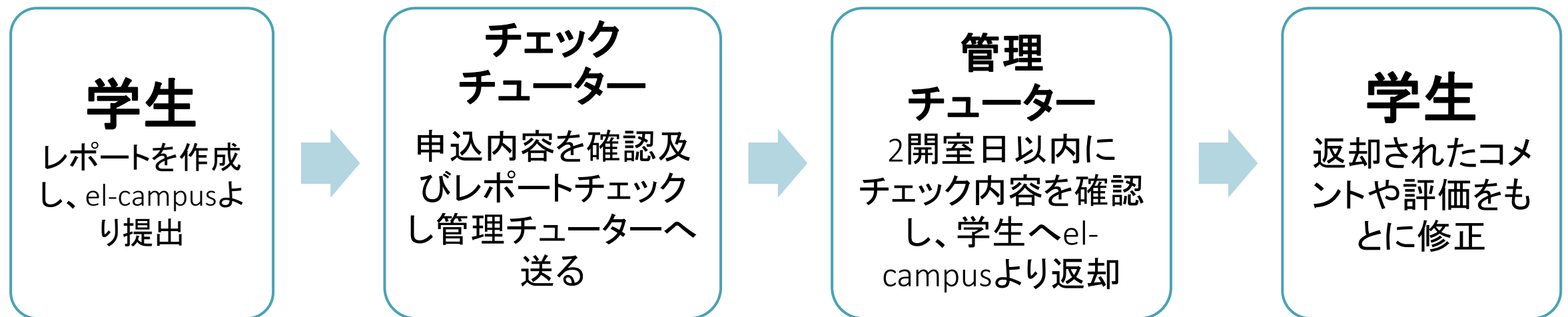


ルーブリックとしての活用



レポート作成サポートの概要

- ◆ 2016年度からスタートしたel-campusを通じてレポートチェックを行う仕組み
- ◆ すべてオンラインのため、学生とチューターは対面の必要がない
- ◆ さくら夙川に通学している学生及び本年度より年1回を限度として通信教育部の基礎ゼミナール受講学生を対象
- ◆ 提出の翌日から2開室日（学修サポートセンター業務日）以内にチューターがチェックしたレポートファイルと評価コメントを返却



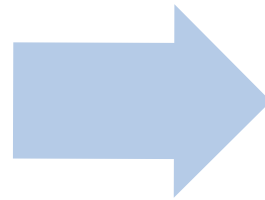


運用方法

◆各チューターの業務

チェックチューター

- 担当曜日内の提出の確認
- レポートのチェック業務
- 提出物に不足があれば学生に連絡
- 同一課題が以前にも提出されていた場合、前回チェック内容を必ず確認
- 本文に直接、編集・修正は行わない
- 自力で修正できる箇所は黄マーカー



管理チューター

- 毎日のel-campusのチェック
- チェックされた内容の確認
- 学生への返却
- レポート提出を忘れていた学生への連絡
- el-campusおよびデータの管理
- その他問い合わせへの対応

使用しているルーブリック

【基本編】

学習支援センター ライティング・チェック・システム ルーブリック(基本編)				
チューターからのコメント欄 チューター名 () チェック日 ()				
評価項目	4(よく書けている!)	3(惜しい!)	2(もう少し!)	1(頑張ろう!)
1 【課題指示の遵守】 課題指示を遵守しているか	課題指示を遵守している	-	-	課題指示を遵守していない部分がある
2 【文章表記】 誤字脱字がないか/句読点は正しく用いられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
3 【文章表現】 文体は統一されているか/読点の位置が適切か/文語体になっているか/主語述語にねじれないか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
4 【単語・用語の正確さ】 単語・用語を正しい意味で用いているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
5 【構成】 段落同士に論理的なつながりがあるか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
6 【引用・参考文献】 引用・参考文献が正しく書けているか	正しく書けている	-	-	まったく書けていない
7 【剽窃】 剽窃の可能性がないか	剽窃の疑いなし	-	-	剽窃の疑いあり

文献記載方法の正確さ／剽窃の疑いの項目を分けることで、剽窃の原因をわかりやすく(応用編も)

「剽窃の疑いあり」の場合は必ずコメント欄でふれる

【応用編】

学習支援センター ライティング・チェック・システム ルーブリック(応用編)				
チューターからのコメント欄 チューター名 () チェック日 ()				
評価項目	4(すばらしい!)	3(もっと伸ばせる!)	2(もう少し!)	1(頑張ろう!)
1 【課題指示の遵守】 課題指示を遵守しているか	課題指示を遵守している	-	-	課題指示を遵守していない部分がある
2 【問いの明示】 問いが明確で具体的になっているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
3 【結論の明示】 結論が明確になっているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
4 【根拠の明示】 根拠が明確に述べられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
5 【章・見出しなどの構成】 内容に沿って章・見出しなどに適切に分けられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
6 【段落構成】 段落が適切に区切られているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
7 【文章表記】 誤字脱字がないか/句読点は正しく用いられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
8 【文章表現】 文体は統一されているか/読点の位置が適切か/文語体になっているか/主語述語にねじれないか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
9 【単語・用語の正確さ】 単語・用語を正しい意味で用いているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	できていない
10 【参考文献】 参考文献が示されているか	参考文献が示されている	参考文献は示されているが、書き方に間違いがみられる	-	参考文献が示されていない
11 【引用方法】 引用方法を正しく理解できているか	引用が正しくされている	引用はされているが、書き方に間違いがみられる	-	引用が示されていない
12 【剽窃】 剽窃の可能性がないか	剽窃の疑いなし	-	-	剽窃の疑いあり

どちらのバージョンにも形式だけでなく内容についての項目を追加

学修サポートセンター レポート作成サポート ルーブリック(基本編)

チューターからのコメント欄 チューター名 (〇〇〇〇) チェック日 (〇〇〇〇年〇月〇日)

レポート作成、お疲れさまでした。課題指示文にあった表紙の要件、文字数等はしっかりと守れていました。また、文体を統一してレポートを書く、ということもできていました。頑張りましたね。ただ、論の冒頭や各段落では一字下げをするということや、書き言葉を使うということ、衍字のミス（無関係な文字が入っている）、句読点の付け間違いや付け忘れ、わかりづらい文などがところどころにありました。それにより内容が読み手に伝わりにくくなっていたので、コメントを参考に、ブラッシュアップを図ってください。なお、黄色マーカー部分は、コメントを参考にすれば、ご自身で見直せる部分だと思しますので、考えてみてくださいね。では、提出まであともう少し、頑張ってください。学修サポートセンターでサポートもしていますので、よろしければ本ルーブリックやコメント付きの文書をもって、ご来室くださいね。

	評価項目	4(よく書けている!)	3(惜しい!)	2(もう少し!)	1(頑張ろう!)
1	【課題指示の遵守】 課題指示を遵守しているか	課題指示を遵守している	-	-	課題指示を遵守していない部分がある
2	【文章表記】 誤字脱字がないか/句読点は正しく用いられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
3	【文章表現】 文体は統一されているか/読点の位置が適切か/文語体になっているか/主語述語にねじれはないか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
4	【単語・用語の正確さ】 単語・用語を正しい意味で用いているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
5	【構成】 段落同士に論理的なつながりがあるか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	まったくできていない
6	【引用およびその出典(参考文献)】 引用・参考文献が正しく書けているか	引用・出典ともに正しく書けている	引用・出典、両方を示している ただし、どちらかの示し方を誤っている。	引用・出典、両方を示している ただし、両方の示し方を誤っている。	引用・出典の表示意識が乏しい (引用・出典のどちらかしか示していない。あるいはどちらも示していない)



レポートへのアドバイス例(2)

学修サポートセンター レポート作成サポート ルーブリック(基本編)

チューターからのコメント欄 チューター名

レポート作成、お疲れ様でした。例を挙げながら論じようとする姿勢はすばらしかったです。段落についても良く意識されていました。ただ、ぜひとも提出までに見直していただきたい面があります。レポートで用いるべき表現の部分です。文体や、言葉使いが、レポートとして適切ではない部分がありました。何より、文体が異なる(「です・ます」体になってしまっている)という点は、ぜひとも見直してもらいたい部分です。たとえば、el-Campusにある「レポートの書き方」という教材の、「4.レポートにふさわしい文章表現」のところなどをまずは参考に見てみることをお勧めします。そこをみたうえで、ご自身のレポートを見直してみてください。では、ここからのブラッシュアップを頑張ってくださいね。

評価項目	4(よく書けている!)	3(惜しい!)	2(もう少し!)	1(頑張ろう!)
1 【課題指示の遵守】 課題指示を遵守しているか	課題指示を遵守している	-	-	課題指示を遵守していない部分がある
2 【文章表記】 誤字脱字がないか/句読点は正しく用いられているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	
3 【文章表現】 文体は統一されているか/読点の位置が適切か/文語体になっているか/主語述語にねじれはないか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	
4 【単語・用語の正確さ】 単語・用語を正しい意味で用いているか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	
5 【構成】 段落同士に論理的なつながりがあるか	80%以上の出来栄である	79~60%の出来栄である	59%以下の出来栄である	
6 【引用およびその出典(参考文献)】 引用・参考文献が正しく書けているか	引用・出典とも正しく書けている	引用・出典とも正しく書けている	引用・出典とも正しく書けている	

「です、ます調」
「話し言葉」の多用

el-Campusにある「レポートの書き方」という教材の、「4.レポートにふさわしい文章表現」のところなどをまずは参考に見てみることをお勧めします。そこをみたうえで、ご自身のレポートを見直してみてください。では、ここからのブラッシュアップを頑張ってくださいね。



学生

- ・ アカデミック・ライティングの基礎をくり返し学ぶことができる
- ・ 求められている基準を理解することができる

教員他

- ・ フリーで活用できるテキストがあることで、学生／授業外のサポーターとの間に共通の基準を作ることが(比較的安易に)できる
- ・ アカデミック・ライティングに関する細かい解説を必ずしも授業中に行う必要がなくなる



石毛弓. (2017). ルーブリックを活用したライティング・チェック・システムの構築. 大手前大学CELL教育論集, 7, 9-16.

学修サポートセンター監修. (2022). レポートの書き方第三版. 大手前学園.

稲垣忠, 鈴木克明.(2011). 授業設計マニュアルー教師のためのインストラクショナルデザイン. 北大路書房.

佐渡島紗織, 太田裕子.(2013). 文章チュータリングの理念と実践ー早稲田大学ライティング・センターでの取り組みー. ひつじ書房.

文部科学省. (2019). 平成28年度の大学における教育内容等の改革状況について(概要).

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/__icsFiles/afieldfile/2019/05/28/1417336_001.pdf <2023.11.10>

Stevens, Dannelle D., and Antonia J. Levi. (2004). Introduction to Rubrics: An Assessment Tool to Save Grading Time, Convey Effective Feedback, and Promote Student Learning. Routledge.



本研究はH24年度特別教育研究費(大手前大学)を受けたものです
本研究はH25年度特別教育研究費(大手前大学)を受けたものです

本研究は科研費20K03112の助成を受けたものです